

千葉県立花見川第二小学校 ^{増築に伴う} 地質調査 地質柱状図 (No. 1)

調査地点 千葉県花見川 6-1

標高 _____

使用機械 KR100

調査年月日 昭和 52 年 6 月 13 日 ~ 6 月 14 日

孔内水位 6.00

孔径 66φ

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	地下水位 (m)	柱状図	土質名	色調	記事	相対密度	コンテンス	標準貫入試験					試験採取方法	試験採取深度 m							
											試料番号	深度 m	N 値 回/cm	10cm 毎の打撃回数				N 値						
													10	20	30	0	10	20	30	40				
1	0.70	0.70			盛土	暗褐灰		シルトを含む砂質である。		中位	9.15	10	3	3	4									
2								ポーラスである		中位	7.45	30												
3								腐植物混入する		中位	8.15	8	2	3	3									
4								色調多少変化する。		中位	2.45	30												
5	4.50	3.80			ローム	褐				非常に柔らかい	8.15	5	1	2	2									
6								粘性は小程度		非常に柔らかい	3.50	35												
7								腐植物混入する		非常に柔らかい	8.15	3	1	1	1									
8								とろとろ不規則に砂をばさむ		非常に柔らかい	2.47	32												
9	7.70	3.20			砂質ローム	茶褐				中位	5.15	2	1	1										
10	8.30	0.60			粘土質砂	茶褐		粘土は帯状にばさむ。		中位	5.57	36	18	18										
11	9.00	0.70			中砂	茶褐		腐植物混入する		中位	8.15	1	0	1										
12	9.80	0.80			粘土質砂	茶褐		砂粒子は不均一		中位	6.55	40	12	12	28									
13	10.70	0.90			中砂	茶褐				中位	7.15	3	1	1	1									
14								ほぼ均質である		中位	7.47	32	12											
15								部分的に粘土をばさむ		中位	8.15	6	1	1	4									
16								とろとろばさむ		中位	8.45	30												
17								含水中位		中位	9.15	16	4	4	8									
18										中位	9.45	30												
19								スリヤ質混入物あり		中位	10.15	18	5	5	8									
20								含水やや多し		中位	10.45	30												
21								雲母片混入する		中位	11.15	25	7	8	10									
22										中位	11.45	30												
23										中位	12.15	27	8	9	10									
24										中位	12.45	30												
25										中位	13.15	26	8	9	9									
26										中位	13.45	30												
27										中位	14.15	27	8	9	10									
28										中位	14.45	30												
29										中位	15.15	26	8	8	10									
30										中位	15.45	30												
31										密实	16.15	27	9	10	8									
32										密实	16.45	30												
33										密实	17.15	28	8	9	11									
34										密实	17.45	30												
35										密实	18.15	37	10	12	15									
36										密实	18.45	30												
37										密实	19.15	50	15	17	18									
38										密实	19.45	30												
39										密实	20.15	50	16	25	9									
40										密实	20.37	22			2									

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア-試料

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数、10cm~20cmの間で要した打撃回数、20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。